

## コンサイスガイダンス

### パート C：PBT アセスメント

パート C は、物質が難分解性、生物蓄積性および毒性 (PBT) か極めて難分解性で高い生物蓄積性 (vPvB) かどうかをアセスする方法に関するコンサイスガイダンスを含む。放出の特性化を含む PBT および vPvB に関する詳細な手引は、第 R.11 章で取り上げられる。

### 改訂履歴

版	備考	原文の更新日	JETOC 資料*
第 1 版	初版	2008 年 5 月	<a href="#">特集号 No. 92</a> のパート C
第 1.1 版	DSD/DPD の参照を CLP 参照と置き換える訂正 (R 警句のハザードステートメントとの置き換えを含む)。 編集上の変更。	2011 年 12 月	発行予定無し

\*JETOC 発行資料の番号をクリックすると資料購入ページにリンクします。

### 第 1 版の構成内容 (特集号 No.92 のパート C)

#### 目次

C.1	PBT および vPvB アセスメント	6
C.1.1	目的および手順 I	6
C.1.2	PBT および vPvB クライテリア	6
C.1.3	PBT および vPvB クライテリアとの比較	7
C.1.4	試験戦略	9
C.1.4.1	難分解性	9
C.1.4.2	生物蓄積	10
C.1.4.3	毒性	11
C.1.5	PBT または vPvB の性質についての結論	12
C.1.6	物質が PBT または vPvB と特定された場合のその後の対応	12

#### 表

表 C.1-1	:REACH 規則の付属書 XIII による PBT および vPvB クライテリア	7
表 C.1-2	:難分解性、生物蓄積性、および毒性のスクリーニングクライテリア	8